

データ・情報の信頼性

演繹法で使う法則（前提）、帰納法で使う事例・データ、アブダクションの仮定のもととなるデータなど、探究活動をするためには、さまざまなデータ・情報が必要です。

現代は、ネットを用いて、簡単に情報を得ることができます。しかし信頼性の高いデータばかりではありませんので引用するときには発信元を確認する必要があります。

内容によって、信頼できるデータの発信元は変わりますが、一般的には以下のようになります。

Level. 3

国の機関の統計データ 世界統計

権威ある学会で認められた論文（J-Stage, CiNii, GoogleScholarなどで検索可能）

公的な機関の発表データ

Level. 2

民間の機関や企業の発表データ

新聞のデータ

専門書



Level. 1

一般書籍

専門の雑誌

ネットアンケート

引用が必要なときは、まずLevel. 3から探しましょう。それでも見つからないときは

Level. 2 → Level. 1へ

また、ステージ発表やポスター発表の参考文献に使うことになるので、ラボノートに記録をとることも大事です。